

# THE SYSTEMS



# CHIZAI ROAD

## 情報システム委員会



委員長 中山明哉  
(キヤノン)

デジタル化・DXの進展や生成AIの急速な発展など、情報システムを取り巻く環境は大きく変化しています。どのように対応して、何をを目指すのか？情報システム委員会に集まって、知財ロードの先にある未来を作ろうと思っています。あなたを取り巻く問題が私たちのテーマです。

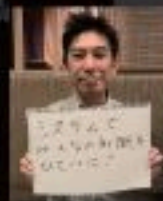
## 第1小委員会（知財データ活用）



小委員長 富田典希  
(積水化学工業)

「知財費用予測と予実管理」と「知財データの可視化」の2つのテーマで調査研究を行っています。前者のテーマでは、属人化を防ぎつつ、現実的で実行可能な費用予測手法を提案します。後者のテーマでは、知財データの可視化の現状分析や企業インタビューを実施し、現場での意思決定に役立つ可視化手法を提案します。

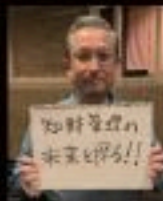
## 第2小委員会（AI特許調査）



小委員長 竹内洋司  
(ブリヂストン)

特許調査や分析にAIを利用している企業は多い一方で、精度が出ない等の課題を抱えています。本年度は無効資料調査を題材にしてAIを活用した検索手法の検討を行い、AI検索の強みと弱みを見極めていきます。調査スキルを問わずに調査業務を遂行できるようAIと協調することで、効果的な活用方法の提案も行います。

## 第3小委員会（知財業務効率化）



小委員長 遠藤伸将  
(マクセル)

「デジタル技術を用いた新たな価値創出と業務効率化」をテーマに研究を進めています。現在の取組みとDXにより実現が期待される将来像とでは未だ乖離が大きいことがみえてきました。この乖離を埋めるべく先進的な取り組みを実施している企業へインタビューを実施し、あるべき知財部の姿について考察していきます。